

南那須地区広域行政事務組合
一般廃棄物処理施設整備基本計画検討委員会 第3回議事録（要旨）

【開催概要】

開催日時：令和3年5月13日(木) 13時30分～15時00分

開催場所：南那須地区広域行政センター 2階会議室

【出席者】

〔委員〕

No.	区分	団体名等	氏名	備考
1	学識経験者	公益社団法人全国都市清掃会議 技術指導部長	荒井 喜久雄	
2		宇都宮大学 名誉教授	三橋 伸夫	
3	那須烏山市	那須烏山市 副市長		
4		那須烏山市 参事兼総合政策課長	菊池 義夫	
5		那須烏山市 まちづくり課長	大谷 光幸	
6		那須烏山市 都市建設課長	佐藤 光明	
7	那珂川町	那珂川町 副町長	内田 浩二	欠席
8		那珂川町 企画財政課長	益子 雅浩	
9		那珂川町 生活環境課長	高瀬 敏之	
10		那珂川町 建設課長	佐藤 裕之	
11	組合	事務局長	深澤 昌美	

〔事務局〕

No.	区分	団体名等	氏名	備考
1	組合	保健衛生センター所長兼施設整備室長	熊田 則昭	
2		施設整備室係長兼衛生センター係長	堀江 辰徳	
3		衛生センター主査兼施設整備室主査	和田 敦子	
4	コンサルタ ント	株式会社エイト日本技術開発	島宗 敬太郎	
5		株式会社エイト日本技術開発	小梶 さやか	
6		株式会社エイト日本技術開発	王 媚	
7		株式会社エイト日本技術開発	穴吹 凌	

1. 開会

2. あいさつ

3. 第2回委員会資料の修正

- ・資料1の第2回委員会の指摘事項に対する修正概要と修正した資料について説明をお願いします。(委員長)
→事務局より説明。(事務局)
- ・資料2の7頁で令和13年度の計画ごみ量がありますが、ごみ排出量予測からの繋がりがわかりづらいので、算出過程を文章で説明してください。6頁の「人口減少の影響を除いて・・・減量」とはどのような意味でしょうか。資料3の7頁で種類組成から元素組成の設定をしていますが、計算方法の説明を追加してください。(委員)
→人口の影響を除いてというのは、人口減少によってごみ量が減少しますが、その影響を除いて減量を行う割合を示しています。その他ご指摘の事項は、表現の見直しを行います。(事務局)
→凡例をいれる等わかりやすい表現としてください。(委員長)
→承知しました。(事務局)
- ・修正点はありますが、第2回委員会資料の修正について了承します。修正点は次回の委員会で提示をお願いします。(委員長)

4. 議題

(1) 施設整備スケジュールについて

- ・資料6の施設整備スケジュールについて説明をお願いします。(委員長)
→事務局より説明。(事務局)
- ・令和7年度に予定している地域計画の見直しはどのようなことを行うのでしょうか。(委員長)
→現在の計画期間が終了するため、見直しをして事業に必要な費用について整理します。(事務局)
→地域計画は国の交付金を受けるために必要となる計画で、見直しをして提出する必要があります。(委員長)
- ・基本構想の時点よりも施設整備に要する期間が4年間延びていますが、既存施設は改修しながら対応することで問題ないですか。(委員)
→施設の機能が維持できるように、対応していきます。(事務局)
→国では長寿命化の手引きを出しており、30年から35年程度の維持管理をするように示しているため、それに沿って維持管理をしてください。(委員長)
- ・財政計画で施設整備のための基金を積み立てていましたが、その取扱いはどうなるのでしょうか。また、し尿処理施設の計画はどのようになるのでしょうか。(委員)
→基金については、財政課と調整して取り扱います。し尿処理施設は来年度から再来年度にかけてし尿処理施設の施設整備基本計画を作成する予定です。スケジュールの詳細はその計画の中で検討します。(事務局)
→既存施設の延命化に係る費用検討も同時にお願いします。(委員)

- ・測量、地質調査はどのようなことを行うのでしょうか。(委員)
 - 建設候補地が確定した段階で現地の調査を行います。(事務局)
 - 建設候補地が確定していなければ、今後のスケジュールに遅れが出るのではないですか。(委員)
 - 今年度中に実施できなければ、来年度以降にずれ込むことになります。(事務局)
 - スケジュールが変更となる場合には、関係各所との調整をして進めてください。(委員長)
 - 検討します。(事務局)

(2) ごみ処理方式の選定について

- ・資料7のごみ処理方式の選定について説明をお願いします。(委員長)
 - 事務局より説明。(事務局)
- ・評価の基準では定性的な評価と数値での評価が混在していますが、最終的にどのように優劣を決めていくのでしょうか。定量的な評価がないと優劣がつけられないのではないですか。(委員)
 - 定量的に評価する部分はメーカーアンケート調査の結果を踏まえて数値を評価しますが、総合的な評価方法は次回示す予定です。点数制としてしまうと何点以上で合格とするという判断が難しいため、数値ではなく定性的な評価で判断いただきたいと考えています。判断のひとつとして、達成する必要がある基準に対して達成できないと判定されるごみ処理方式があれば、その方式は除外することを考えています。(事務局)
 - 定性的な評価では判断が難しくなりますが、定量的な評価ではわずかな差でも優劣がついてしまうという課題があります。どちらにも良い面、悪い面があるため、次回の委員会で評価の内容について示していただきたいと思います。(委員長)
- ・最終的には1つの方式に絞るということですか。(委員長)
 - 何種類の方式を残すのかも今後の委員会で判断いただきたいと思います。(事務局)

(3) 環境保全計画について

- ・資料8の環境保全計画について説明をお願いします。(委員長)
 - 事務局より説明。(事務局)
- ・准連施設と全連施設の違いについて説明をお願いします。(委員長)
 - 全連施設の場合は24時間稼働し続ける施設、准連施設の場合は1日16時間運転する施設で、毎日の立上げ立下げが必要となる施設です。(事務局)
 - 規模が大きいものは全連施設となっており、今回は39tの施設であるため准連施設に該当するという事です。(委員長)
- ・准連施設は全連施設と比べると排ガス基準値を緩く設定していると理解しました。基準を厳しくすると維持管理費が増加するという説明もありましたが、ダイオキシン類の濃度は法規制値と同等となっており、厳しく設定することはできるのでしょうか。(委員)
 - 全連施設では0.1ng-TEQ/m³Nと准連施設では5ng-TEQ/m³Nで50倍の違いがありますが、煙突から大気へ放出されて拡散します。ng-TEQ/m³Nという単位は非常に小さい値であるため、数値で見ると50倍ということになっていますが、実際にはそれほどの違

いはないと考えています。排ガス基準と費用との関連性についてはメーカーアンケート調査の中で確認することとします。(事務局)

→着地濃度やダイオキシン類の挙動等も含めて説明できるような基準としてください。

(委員長)

- ・県内他事例と比べると、今回の施設の基準値は緩いのではないですか。(委員)

→全連施設と准連施設でも基準が異なり、全連施設でも施設の規模によって規制が異なります。基準の違いや着地濃度、人体への影響も含めて補足資料を提示してください。

(委員長)

→承知しました。(事務局)

(4) 事業方式について

- ・資料9の事業方式について説明をお願いします。(委員長)

→事務局より説明。(事務局)

- ・BTO方式が調査対象に採用されていますが、准連施設の事例はあるのでしょうか。PFIでは温浴施設等の付帯施設の機能がついている印象がありますが、付帯施設の事例はあるのでしょうか。(委員)

→小規模施設でPFIを実施している事例はありません。また、焼却施設に温浴施設を併設する事例では収益を上げることは難しく、住民還元として実施することが多くなっています。PFIを選択している事例では、政策的にPFIを推進している自治体や起債の確保が難しいという事情がある場合、民間の土地を活用したい場合等があります。

(事務局)

→BTO方式では、建設後に所有権を自治体へ移行して運転する方式、BOT方式では民間の施設として運転し事業終了後に自治体へ所有権を移転する方式、BOO方式では民間の施設として運転して処理料金を支払うこととなりますが、どのような形でも交付金の対象にはなりません。今回はBTO方式、DBO方式、長期包括委託を対象とするということです。(委員長)

- ・交付金を活用する上で、事業方式によって違いがあるのでしょうか。(委員)

→交付金が活用できるのは、施設の設計・建設に対してのみであり、運営については、交付金は活用できないため、自治体側で資金を用意する必要があります。事業方式にかかわらず、同等の交付金を活用することができます。(事務局)

(5) アンケート調査について

- ・資料10のアンケート調査(概要)について説明をお願いします。(委員長)

→事務局より説明。(事務局)

- ・アンケート調査の回答結果からごみ処理方式の判断をすることでよいのでしょうか。また、さらなる効率化というのはどのようなことが想定されるのでしょうか。(委員)

→ご指摘のとおりです。効率化に関する事項はごみ処理方式の選定のためではなく、今後事業を進めるための参考として調査しています。(事務局)

- ・PFI導入可能性調査の結果はいつ頃提出されるのでしょうか。(委員)

→今年度中に作成します。(事務局)

→DBO方式では造成工事も含めて実施するのでしょうか。建設候補地が決まらずに造成

- 工事が遅れると事業全体の施設整備のスケジュールにも影響があるのではないですか。その点について注意しながら進めていただきたいと思います。(委員)
- 敷地面積が 1.4ha とありますが、敷地全体で 1.4ha ということでよいのでしょうか。(委員)
- し尿処理施設を含めて土地全体が 2ha、ごみ処理施設で 1.4ha と想定しています。(事務局)
- スケジュールに関しては今後見直しが必要と考えます。関係部署との調整も含めて検討してください。造成については建設工事に含めるのではなく、地元の事業者に発注している事例が多くなっています。検討したスケジュールを次回に示してください。(委員長)
- ・アンケート調査を実施することについては了承することでよいでしょうか。(委員長)
- 了承。(委員一同)

(6) その他(次回の日程、内容等について)

- ・次回委員会は 10 月の開催を予定しています。後日、日程調整の連絡をします。(事務局)
- 了承。(委員一同)
- ・日本工業経済新聞にごみ処理事業の記事が掲載されていました。未確定な情報の取り扱いについては注意をお願いします。(委員)

5. 閉会